

第8回 難治性疾患トランスレーションセミナー

エピゲノム解析を基盤とするがんと老化 関連疾患の治療戦略

2018年12月11日(火) 17:00 - 19:00

山口大学医学部基礎研究棟 1階カンファレンスルーム

17:00-17:05 はじめに 谷澤幸生 医学系研究科長

17:05-18:00 拠点プロジェクト

超高感度メチル化解析法の開発および臨床応用

末広 寛 准教授 臨床検査・腫瘍学講座

ゲノム解析によるがん免疫療法の治療戦略

新藤 芳太郎 助教 消化器・腫瘍外科学講座

新規誘導性転写機構によるプロテオスタシス制御

瀧井良祐 助教 医化学講座



18:00-19:00 特別講演「核-細胞質間輸送運搬体 Hikeshi の機能」

理化学研究所 主任研究員 今本尚子 先生

核-細胞質間輸送運搬体 Importin は平常時に活発に働くが、熱などのストレスを受けるとその活性が低下する。Importin 輸送が低下する熱ストレス時に、Hikeshi と名付けた運搬体が担う輸送が駆動することを見つけた。Hikeshi は分子シャペロン Hsp70 を核に運ぶことに特化した運搬体で、Importin ファミリーに属さないタンパク質である。Hikeshi の機能が損なわれると、マウスは致死になり、ヒトでは致命的な遺伝子疾患が誘発される。Hikeshi の機能が喪失すると、Hsp70 の核内機能が失われると考えている。Hikeshi の機能解析から、これまで注目されていなかった Hsp70 の核内機能の重要性について議論したい。

すべての研究者、大学院生、学部学生のご参加と活発な議論を歓迎いたします！

実行委員：中井彰、山崎隆弘、永野浩昭

山口大学先進科学・イノベーションセンター：<http://rcasi.kenkyu.yamaguchi-u.ac.jp/>

連絡先：山口大学大学院医学系研究科医化学講座 中井 彰 (2215)